

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月30日（木）

2 確認箇所

K4タンクエリア、多核種移送設備建屋（図1）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の海洋放出の状況（第22回）

4 確認結果の概要

本年度4回目（累計22回目）となる多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出が本日（7月30日）から開始されたため、ALPS処理水の放出に係る操作及び放出の状況を確認した。（前回確認日：令和8年7月6日（第21回放出））

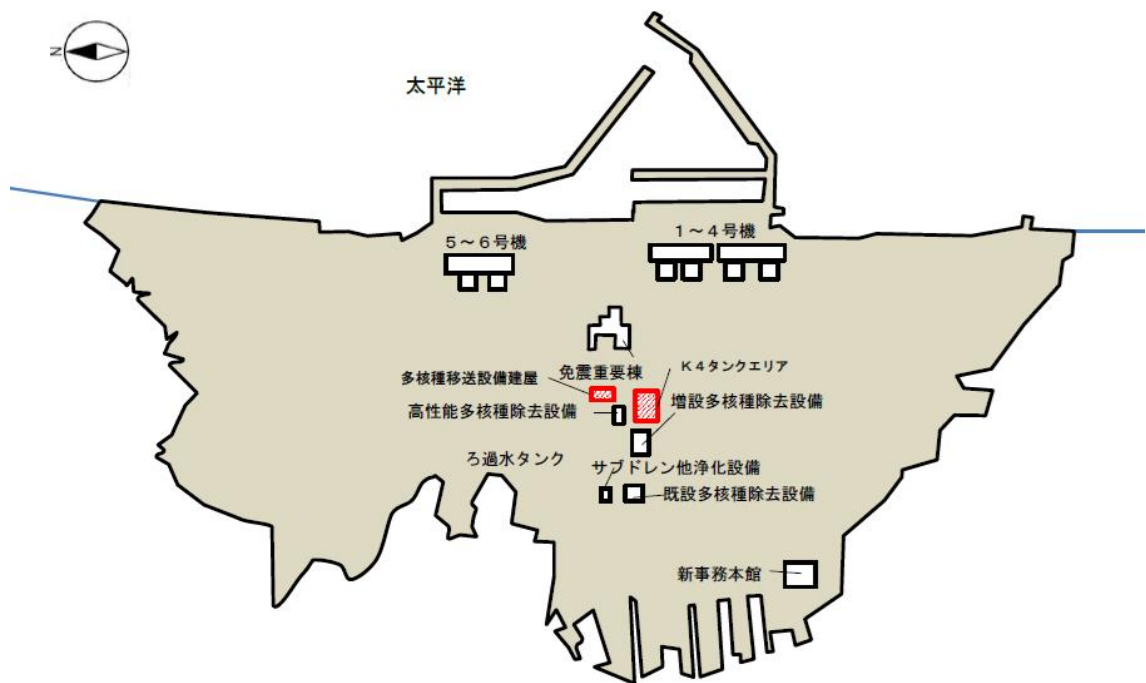
○2026年度第4回ALPS処理水海洋放出の概要

放出対象：ALPS処理水（測定・確認用サンプルタンクC群）

予定放出量：約7,800m³

予定期間：令和8年7月30日（木）～同年8月17日（月）

- ・東京電力社員が手順書に従い、呼称・指差し確認をしながら弁操作が行われた。（写真1）
- ・弁操作後は、誤操作を防止するため、鎖と南京錠による施錠が行われた。（写真2）
- ・全ての弁操作の完了後、処理水移送ポンプ（B）が起動し、ALPS処理水の海洋放出が開始された。（写真3）
- ・ALPS処理水放出開始後、東京電力社員による漏えい確認が行われ、漏えい等の異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1－1) 指差呼称による弁の開閉確認の状況



(写真1－2) 弁「開」操作の状況



（写真２）弁操作後の施錠状況



（写真３）処理水移送ポンプの動作確認の状況（聴診を実施）

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。